

# 漁海況情報第1報 (2022年4月22日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

### 親潮の南下が強く、沿岸域の水温が低下しています。

親潮の南下による冷水の波及を受け、宮城県沿岸の表面水温では5~10℃、100m深水温は4~6℃台となっています。平年と比べ、表層で1~3℃、水深100mで1~2℃低い値です [P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図] [P2. 水温鉛直断面図]。

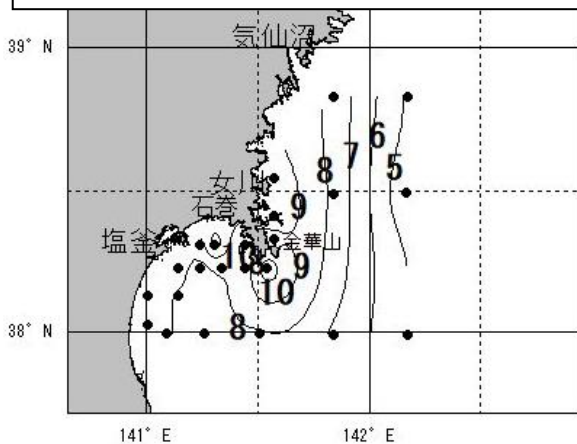
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮は福島県沖まで南下しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

4月中旬の定地水温は7~13℃台で、江島でやや低め、他の調査点ではやや高めから高めとなっています。 [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は3~8℃台となっています。 [P3. 海底直上水温図]。

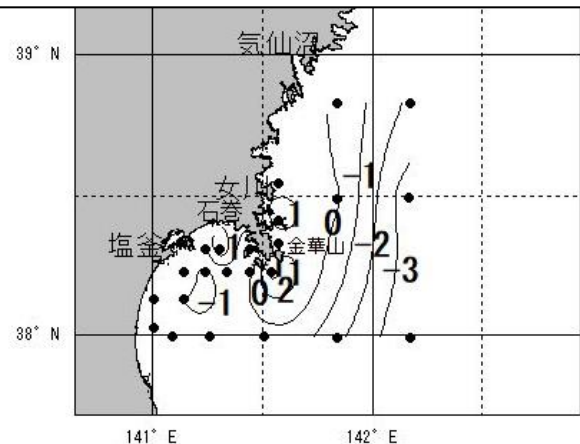
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

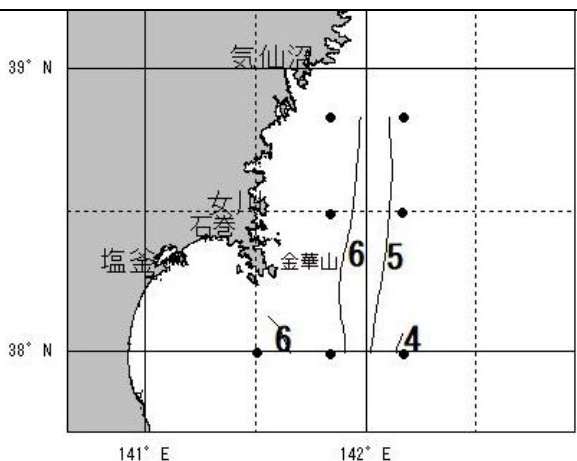
水温分布図 2022年4月6日~20日 表面



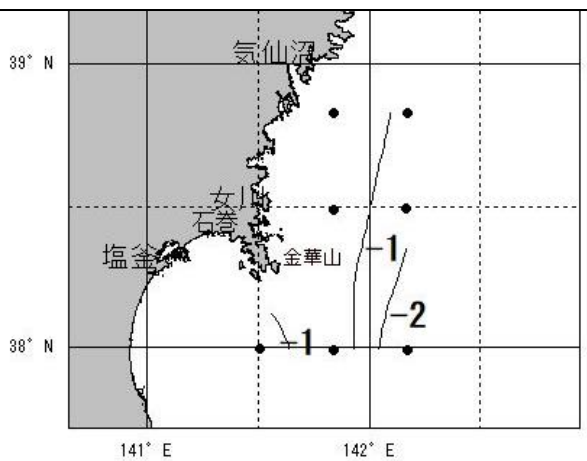
水温平年偏差図 2022年4月6日~20日 表面



水温分布図 2022年4月6日~20日 水深100m

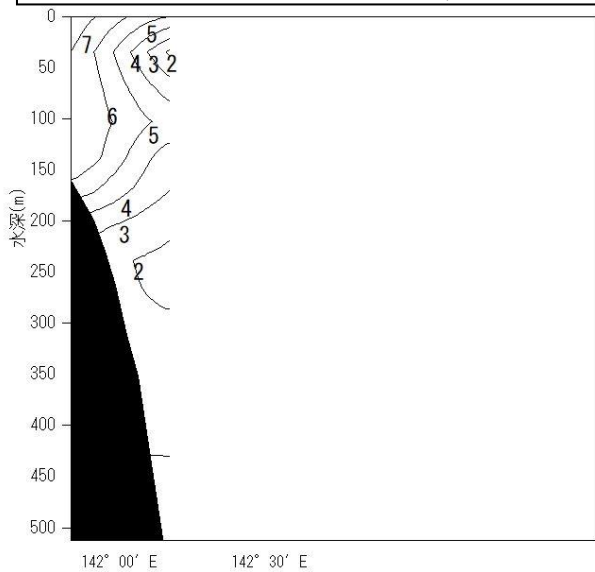


水温平年偏差図 2022年4月6日~20日 水深100m

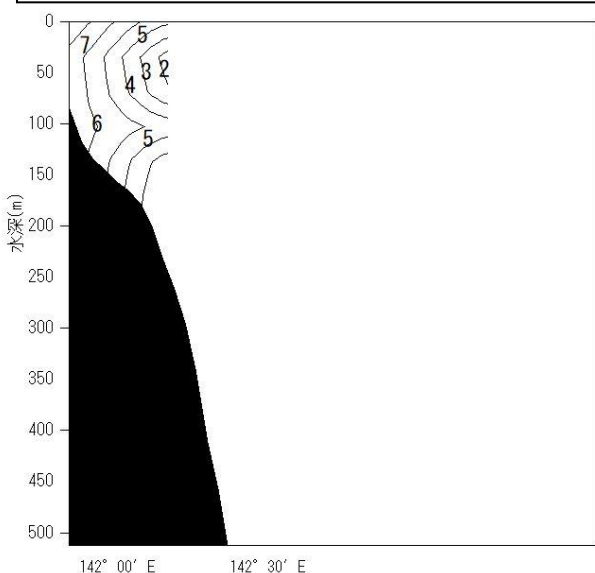


・水温鉛直断面図

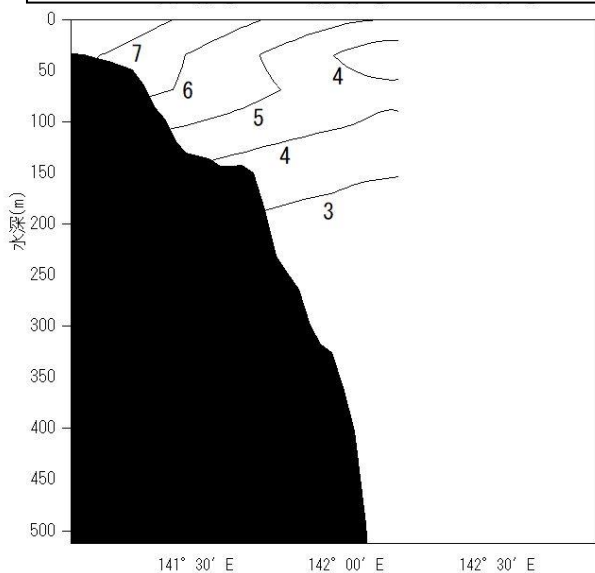
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

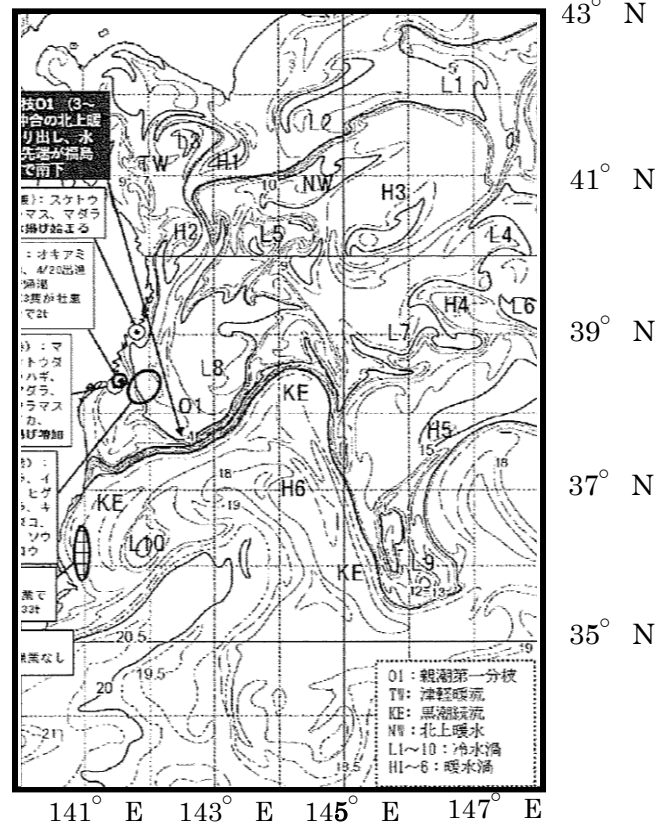


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2022年4月20日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

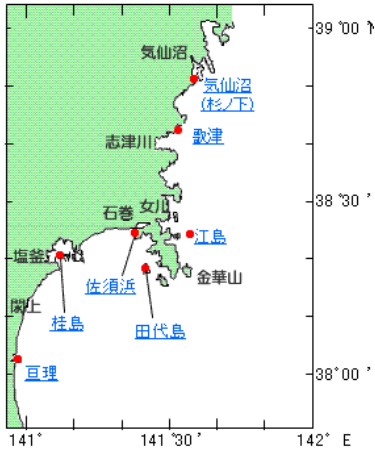
【海況】 (4月20日表面水温)

- ・親潮第一分枝は沖合の北上暖水が西に張り出し、水域が狭まり先端が福島県鹿島沖まで南下、種市～牡鹿半島まで5～7℃。
- ・津軽暖流は青森沿岸を南下、尻屋崎～田野畑まで7～9℃台。
- ・黒潮続流の北上や気温の上昇で、仙台湾～塩屋崎まで9～15℃台。
- ・黒潮続流は塩屋崎から離岸して東北東へ流去。

【漁況】 (4月12～14日)

- ・巻網：1そう巻網は日立沖まで漁場が北上し、18日に23隻がマイワシ5,133tを漁獲。
- ・定置網：石巻はマイワシが主体、大船渡はスケトウダラ主体で変わらず。
- ・カツオ竿釣：黒潮に沿って薩南諸島・トカラ列島周辺。一部の漁船は四国海盆～伊豆諸島海域で操業、平均4.1t/隻・日漁獲。
- ・オキアミ曳縄：宮城は4/20牡鹿半島新山沖で3隻が2トン水揚げ。
- ・コウナゴ火光利用式網：水揚げ継続中。

・ 定地海洋観測



	4月中旬		平年差	前年差
気仙沼 (杉ノ下)	9.3	やや高め	0.8	-1.3
歌津	9.9	やや高め	1.4	-0.5
江島	7.6	やや低め	-0.8	-2.3
田代島	10.9	高め	1.6	0.1
佐須浜	11.6	高め	1.7	0.3
桂島	13.2	高め	2.1	1.8
巨理	13.2	高め	2.3	1.6

※平年値 = 過去30年

※佐須浜 (過去10年)

※歌津 (平成28年12月から観測再開)

※桂島 (平成24年3月から観測開始)

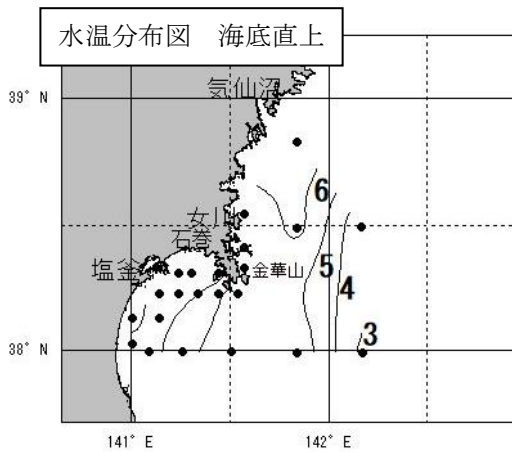
※巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

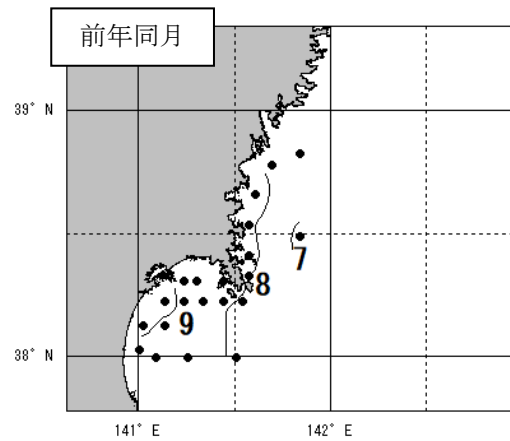
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・ 海底直上水温図

・ 海底直上水温(2022年4月6日～20日)



・ 海底直上水温(2021年4月8日～28日)

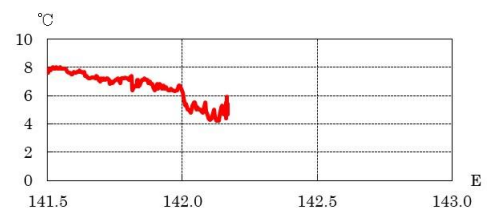
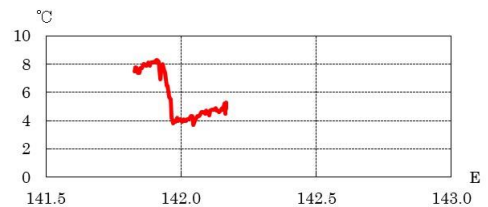
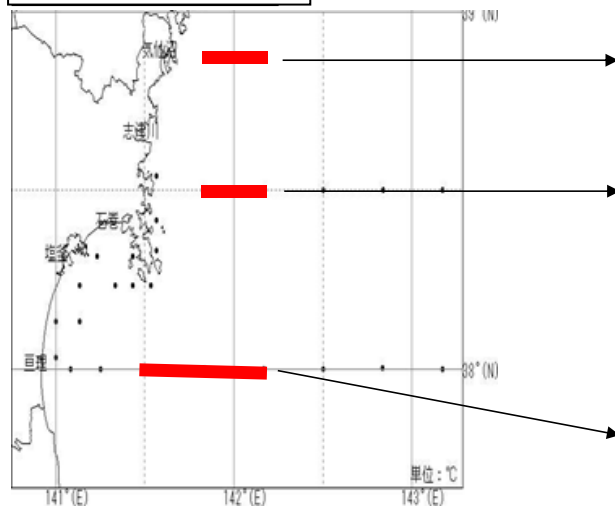


(※観測水深は 500m までです)

2. 表層水温情報

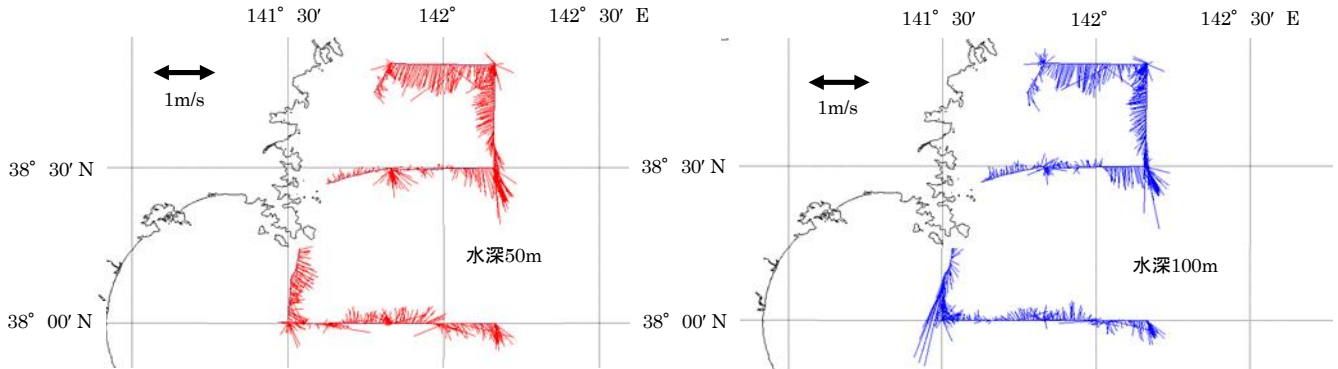
みやしおによる航走表面水温については、次のとおりです。

2022年4月13日～20日



### 3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

### 4. 漁況

3月の水揚量は前年と比較して少なかったヤリイカの水揚量がやや増加したほか、スケトウダラが大幅に増加しています。ビンナガ、メバチ、サバ類、マイワシ、マダラなどは減少しています。

(単位：トン)

2022年4月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									145		1	146	58%
メバチ									15		1	16	46%
サバ類	1	0	554			0						555	23%
ヒラメ	4	2				0	2				2	10	64%
マコガレイ	0	2				0	2				2	6	64%
マガレイ		0					0				2	2	108%
ヤリイカ	1	1				17					0	19	136%
マイワシ			769			320					0	1089	12%
マダラ	122	9				25	1				14	172	37%
スケトウダラ	1681	2				3	0				2	1689	395%
ミズダコ	11	8				0	0				1	20	72%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。

### 5. 調査船運航計画

みやしお	
4/25	鯨類餌環境調査
4/28	鯨類餌環境調査
開洋	
4/25	仙台湾浅海定線調査